

計算書類に対する注記

1 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却について

什器備品...定額法による減価償却を実施している。

(2) 資金の範囲について

資金の範囲には、現金・預金、郵便振替及び未払金、預かり金を含めることにしている。
なお、前期及び当期末残高は3に記載のとおりである。

2 基本財産の増減及びその残高は次のとおりである。

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
投資有価証券	29,843,972	16,000		29,859,972
貸付信託	11,700,000			11,700,000
定期預金	10,946,543	17,509,485		28,456,028
合計(基本金)	52,490,515	17,525,485		70,016,000

3 次期繰り越し収支差額の内容は、次のとおりである。

科目	前期末繰越残高	当期末残高
現金	71,100	11,486
普通預金	20,127,342	8,839,350
郵便振替	24,840,914	2,672,404
合計	45,039,356	11,523,240
未払金	16,383,360	2,688,000
預り金	12,950	20,100
合計	16,396,310	2,708,100
次期繰り越し収支差額	28,643,046	8,815,140

4 固定資産の取得価額、減価償却累計及び当期末残高は、次のとおりである。

科目	取得価額	減価償却累計	当期末残高
什器備品	251,790	239,201	12,589
合計	251,790	239,201	12,589